本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

Baby-G
1622-BG＊JA
USER'S GUIDE

CASIO

このたびは弊社製品をお買い上げくださいまして誠にありがとうございます。末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願いいたします。
なお、この取扱説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。

- Shock resistant construction
- 10-Bar water resistance
- EL backlighting
- 60 minutes countdown timer
- 1/100sec. stopwatch with auto-start function
- Daily alarm/Hourly time signal

安全上のご注意

この注意書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

△記号は「気をつけるべきこと」（注意）を意味しています。（左の例は感電注意）

⃠記号は「してはいけないこと」（禁止）を意味しています。（左の例は分解禁止）

●記号は「しなければならないこと」（強制）を意味しています。（左の例は電源プラグをコンセントから抜く）

⚠警告

本機をスキューバダイビング（アクアラング）に使用しないでください。※本機はダイバーズウオッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。



電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談して下さい。

⚠注意

お手入れについて

本体やバンドは吸湿性のよい柔らかい布でふいて、いつも清潔にしてご使用ください。汚れたままにしておくと、変色や破損、皮膚のかぶれの原因となることがあります。

万一、本機使用により皮膚がかぶれたときは、そのバンドの使用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

ステンレス製のバンドの場合、汚れからサビが発生し衣服の袖を汚すことがあります。

分解しないでください

本機を分解しないでください。本機が故障したり、ケガをする原因となることがあります。



ご使用上の注意

■防水性

●表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されているもの

	BAR無し	5BAR	10BAR	20BAR
洗顔、雨	○	○	○	○
水仕事、水泳	×	○	○	○
ウインドサーフィン	×	×	○	○
スキンダイビング(素潜り)	×	×	○	○

※「BAR」は気圧の意味で、防水性の高さを表わします。

※専門的な潜水＝スキューバダイビング(アクアラング)でのご使用はお避けください。

●防水構造の機種でも、水中でのボタン操作は行なわないでください。

●海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。

●防水性を保つために定期的（2～3年を目安に）なパッキン交換をおすすめします。

●電池交換の際、防水検査を行ないますので、必ずお買い上げの店あるいは最寄りのカシオサービスセンターにお申し付けください。（特殊な治具を必要とします）

●防水時計の一部にデザイン上皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態で、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。

■バンド

●バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。

●樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げ店または最寄りのカシオサービスセンターにバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても実費にて申し受けます。

●樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また、布等で簡単にふきとることができます。

■ショック

●腕につけたままでモトクロス、チェーンソー、削岩機などの強い衝撃を受けても時計には影響ありません。

●腕につけたままで激しいスポーツなどでのショックが加わっても時計には影響ありません。

■温度

●自動車のダッシュボード等の高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり止まったりすることがあります。

●＋60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。

■磁気

●磁気の影響はありません。

■薬品類

●水銀や化学薬品（シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類）が付着すると、ケース、バンドなどに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■保管

●長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

電池交換について

■最初の電池

●工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。

※モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。

※電池交換の場合は保証期間内でも有料となります。

■消　耗

●電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。

●消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

■電池交換

●電池交換は必ずお買い上げ店または最寄りのカシオサービスセンターにお申しつけください。

●電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。

●電池交換の際、防水検査を行ないます。(防水検査は別途有料となります)

お手入れについて

■お手入れのしかた

●時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは、吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。

●金属バンドは、時々、部分洗いすることをおすすめします。部分洗いの際、時計本体に水がかからないようにしてください。非防水時計の場合は故障の原因となり、また防水時計でも石けん水により防水性が損われることがあります。

■お手入れを怠ると

「サビ」

● ステンレススチールはサビにくい性質ですが、汚れによりサビが発生します。

※汚れにより酸素が断たれると、表面の酸化被膜が維持できなくなり、サビが発生します。

● 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやサビがしみ出して衣類の袖を汚すことがあります。

「劣化」

●樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に保管すると、劣化が早くなり、切れたり折れたりすることがあります。

「かぶれ」

● 皮膚の弱い方やアレルギー体質の方はかぶれたりすることがあります。万一、かぶれた場合にはそのバンドの着用を中止し皮膚科の専門医にご相談ください。

● 特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをするか、金属バンドのご使用をおすすめします。

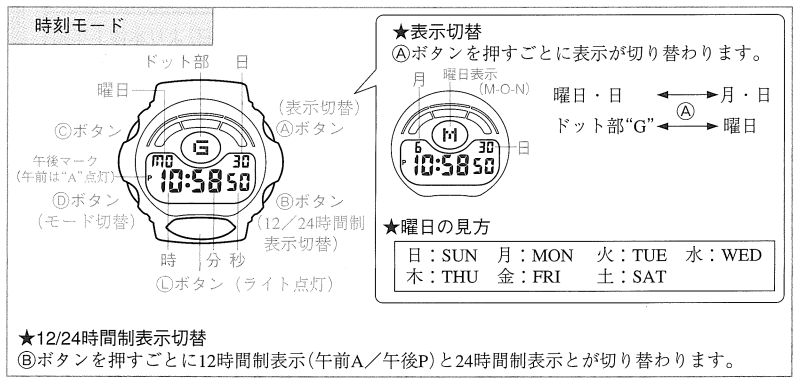
■液晶パネルの交換について

液晶パネルは約７年を過ぎますと数字や文字が読みにくくなる場合があります。そのときはお買い上げ店またはカシオサービスセンターに交換をお申しつけください。実費にて申し受けます。

■ELパネルの交換について

表示照明用として本機に使用しているELパネル（エレクトロルミネッセンスパネル）は、長期間使用しますと明るさが弱くなり、光が暗く見える場合があります。このようなときにはお買い上げ店または最寄りのカシオサービスセンターに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

操作のしくみと表示の見方 〈Ⓓボタンを押すと以下の順でモードが切り替わります〉



ライト点灯について

時刻モード、アラームモード、各セット状態のときにⓁボタンを、タイマーモード、ストップウオッチモードのときにⒶボタンを押すと約2秒間文字盤が発光します。(このとき文字盤のアニメ表示が動きます)
※どのモードのときでも点灯します。



＜ご注意＞
- 直射日光下では、発光が見えにくくなります。
- 発光中にアラーム等の電子音が鳴ると発光を中断します。

＜MEMO＞
アニメ表示はボタンを押すタイミングで内容が変わります(3種類)。ただし、セット中(表示点滅)はアニメ表示を行ないません。

時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換後などで、時刻やカレンダーが合っていないときは、以下の方法でセットします。なお、月に１度くらい「秒合わせ」をすると、時刻はいつも正確です。

●秒の合わせ方

(1) ⓒボタンを約２秒間押します



→「秒」が点滅します。

(2) 時報に合わせてⒷボタンを押します

→「00秒」からスタートします。

秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは１分繰り上がって「00秒」になります。
(時報は「時報サービス117番」が便利です。)

(3) ⓒボタンを押します

→秒の点滅が止まり、セット完了です。

●時刻・カレンダーの合わせ方

(1) 時刻モードのとき、ⓒボタンを約２秒間押します

→「秒」が点滅します。

(2) Ⓓボタンを押します

→「秒→時→分→年→月→日→秒…」の順で点滅が動きますので設定したい箇所をⒹボタンで選びます。

(3) Ⓑボタンを押します



→Ⓑボタンを押すごとに点滅箇所の数字が１つずつ進み、押し続けると早く進みます。

Ⓓボタンで設定したい箇所を選び、Ⓑボタンで数字を選ぶ操作を繰り返して、時刻・カレンダーを合わせます。

- 「時」の午前（A）／午後（P）にご注意ください。
- 「年」は、1995～2039年の範囲内でセットできます。正しく年月日をセットすると、自動的に曜日(時刻モードで表示）が算出されます。なお、カレンダーは、うるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外の修正は不要です。

(4) セットが終わりましたら、ⓒボタンを押します

→点滅が止まり、セット完了です。
※点滅表示のまま２～３分間すると自動的に点滅が止まります。

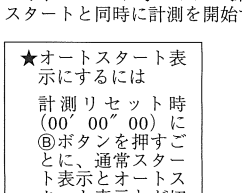
アラームの使い方

Ⓓボタンを押して、アラームモードにします

アラームは、時分を設定でき、設定した時刻になると20秒間電子音が鳴り、アニメが表示されます。また、毎正時（00分）に時報を鳴らすこともできます。

●アラーム時刻の設定

(1) ⓒボタンを約2秒間押します



→「時」が点滅します。
※アラームONとなり、アラームマークが点灯します。

(2) Ⓓボタンを押します

→「時→分→時…」の順で点滅が動きますので設定したい箇所をⒹボタンで選びます。

(3) Ⓑボタンを押します

→Ⓑボタンを押すごとに点滅箇所の数字が１つずつ進み、押し続けると早く進みます。

Ⓓボタンで設定したい箇所を選び、Ⓑボタンで数字を選ぶ操作を繰り返して、アラーム時刻を設定します。

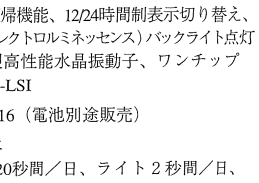
- 「時」の午前（A）／午後（P）にご注意ください。基本時刻が24時間制のときはアラーム時刻も24時間制で表示されます。

(4) セットが終わりましたら、ⓒボタンを押します

→点滅が止まり、セット完了です。
※点滅表示のまま２～３分間すると自動的に点滅が止まります。

●アラーム・時報のON／OFF設定

アラームモードのとき、Ⓐボタンを押すごとに、アラームマーク・時報マークの点灯／消灯が切り替わります。
※マークが点灯しているとON、点灯していないとOFFとなります。



●デモアラーム

アラームモードのとき、Ⓑボタンを約１～２秒間押し続けると、アラーム音が鳴ります。
※Ⓑボタンを押し続けている間、アラーム音が鳴ります。

●鳴っている電子音を止めるには

ⒶⒷⒸⒹⓁボタンのいずれか１つを押します。

タイマーの使い方

Ⓓボタンを押して、タイマーモードにします

タイマーは、１秒単位で最大60分までセットできます。残り時間が０秒になると、10秒間電子音が鳴り、タイムアップを知らせます。

●タイマー時間の設定

(1) ⓒボタンを約2秒間押します



→「分」が点滅します。

(2) Ⓓボタンを押します

→「分→秒→分…」の順で点滅が動きますので設定したい箇所をⒹボタンで選びます。

(3) Ⓑボタンを押します

→Ⓑボタンを押すごとに点滅箇所の数字が1つずつ進み、押し続けると早く進みます。

Ⓓボタンで設定したい箇所を選び、Ⓑボタンで数字を選ぶ操作を繰り返して、タイマー時間を設定します。

- タイマー時間を60分に設定するときは表示を"00′ 00″"にします。

(4) セットが終わりましたら、ⓒボタンを押します

→点滅が止まり、セット完了です。
※点滅表示のまま２～３分間すると自動的に点滅が止まります。

●タイマーの使い方（減算計測のしかた）

Ⓛボタンを押します

★計測中にⓁボタンを押すと計測が一時的に中断します。(STP点灯) もう一度Ⓛボタンをボタンを押すとその時点から計測を再開します。
★「タイムアップ後」または「計測中断後Ⓑボタンを押す」と、計測前の表示に戻ります。



残り時間が５分、０秒(タイムアップ)になると、電子音、ライト、アニメ表示で知らせます。

★減算計測中のグラフ表示について



ストップウオッチの使い方

Ⓓボタンを押して、ストップウオッチモードにします

ストップウオッチは、1/100秒単位で59分59秒99（60分計）まで計測できます。(計測範囲を超えると、自動的に0に戻って計測し続けます。)また、スタートの5秒前からカウントダウンを開始し、3秒前から1秒ごとに電子音で報知することができます。

●計測のしかた

Ⓛボタンを押します →ストップウオッチモードのとき、Ⓛボタンを押すと計測を開始します。



〈通常スタート表示〉

- ★計測中にⓁボタンを押すと、計測が止まります。このときもう一度Ⓛボタンを押すとその時点から計測を再開します。(積算計測)
- ★計測中にⒷボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続けるスプリット計測となります。(SPL点灯)

※計測値を０に戻す(リセット)には、計測終了後Ⓑボタンを押します。

★通常計測

Ⓛ スタート → Ⓛ ストップ → Ⓑ リセット

★スプリットタイム（途中経過時間）の計測

Ⓛ スタート → Ⓑ スプリット → Ⓑ スプリット解除 → Ⓛ ストップ → Ⓑ リセット
（Ⓑ スプリット → スプリットタイム表示）

★１・２着同時計測

Ⓛ スタート → Ⓑ １着ゴール → Ⓛ ２着ゴール → Ⓑ ２着タイム表示 → Ⓑ リセット
（１着タイム表示）

●オートスタート機能

オートスタート機能とは、スタート（計測開始）の5秒前からカウントダウンを開始し、3秒前から1秒ごとに電子音で報知するものです。この機能により、スタート時のボタン操作を行なうことなくスタートと同時に計測を開始することができます。

- ★オートスタート表示にするには
  計測リセット時（00′ 00″ 00）にⒷボタンを押すごとに、通常スタート表示とオートスタート表示とが切り替わります。



オートスタートマーク

〈オートスタート表示〉

- ★オートスタートで計測を開始する
  オートスタート表示のときⓁボタンを押すと、5秒前からのカウントダウンを始めます。



カウントダウン中に

- ●計測を中断するとき…Ⓑボタンを押します。オートスタートの計測前の表示に戻ります。
- ●カウントダウンを中止し、即スタートするとき…Ⓛボタンを押します。

★カウントダウン中のグラフ表示について



※計測開始後は、通常のストップウオッチのボタン操作と同様になります。

製品仕様

水晶発振周波数	：32,768Hz
精度	：平均月差±15秒以内
表示方式	：FE型液晶デジタル表示
基本機能	：月・日・曜日、時・分・秒、午前A／午後P／24時間制表示、フルオートカレンダー（1995～2039年）
タイマー機能	：残り時間５分／０秒時に電子音とライトで報知 セット単位＝秒　セット範囲＝60分00秒 計測単位＝１／10秒
ストップウオッチ機能	：計測単位＝1/100秒　計測範囲＝59分59秒99（60分計）計測機能＝通常計測、積算計測、スプリット計測、１・2着同時計測、オートスタート機能
アラーム機能	：時刻アラーム　セット単位＝時・分 電子音＝20秒間 時報　毎正時に電子音で報時
その他	：自動復帰機能、12/24時間制表示切り替え、EL(エレクトロルミネッセンス)バックライト点灯
主要回路素子	：音叉型高性能水晶振動子、ワンチップCMOS-LSI
使用電池	：CR-1616（電池別途販売）
電池寿命	：約２年 (電子音20秒間／日、ライト２秒間／日、タイマー１回／週、オートスタートストップウオッチ1回／週使用したとき) ※ただし、ライトの使用条件により、電池寿命が短くなることがあります。 ● １日当たりライト６秒間使用…約22ケ月 ● １日当たりライト10秒間使用…約18ケ月